

催し

■青少年郷土芸能フェスティバル2016

次世代への郷土芸能伝承に取り組む学校や団体による発表会です。市内各地域のほか、北上市の鬼剣舞など市外の郷土芸能団体も出演します。

【日時】11月27日(日)、正午～午後3時30分

【会場】文化会館

【入場料】無料

【問い合わせ】教育委員会文化財課(☎45-1311内線353)

■第17回花巻ふれあい文化祭

市内の障がい者やその支援者などが協力して開催する文化祭です。

【日時】12月2日(金)、午前10時～午後2時30分

【会場】文化会館

【内容】舞踊・演奏などの舞台発表、作品展示、生産品の即売など

【入場料】無料

【問い合わせ】同文化祭事務局(花巻清風支援学校内☎28-2421)

■宮沢賢治生誕120年記念

「賢治祭～毛利衛さん講演会～」

「宮沢賢治とともに見た宇宙」をテーマに宇宙飛行士で日本科学未来館館長の毛利衛さんの講演会を開催します。

※市内高校生を対象に開催する講演会を、別会場に設置する映像モニターにより一般に公開するものです

【日時】12月16日(金)、午後2時～3時30分

【会場】文化会館中ホール

【入場料】無料

※入場整理券が必要です。整理券は11月21日(月)より文化会館、ホテルグランシェール花巻、賢治の広場で配布します(先着200人)

【問い合わせ】一般財団法人宮沢賢治記念会(☎31-2117)

まなび

■花巻ポラーノ倶楽部「ニードルフェルト」

【対象】35歳未満の勤労青少年

【期日】11月25日～12月16日の金曜日、全4回

【時間】▶11月25日・12月2日…午後7時30分～9時▶12月9日・16日…午後7時～9時

【会場】勤労青少年ホーム

【定員】10人

【参加料】各回540円(材料代)

※ポラーノ会への会員登録(年会費1,000円)が必要です

【申込期限】11月21日(月)

【問い合わせ・申し込み】勤労青少年ホーム(☎23-4839)

■こどものつどい

「粘土で干支づくり体験」

【対象】小学3年～6年生

【日時】12月10日(土)、午前9時～午後0時30分

【会場】まなび学園

【内容】来年の干支づくり体験と紙芝居観賞会

【定員】20人(抽選)

【参加料】500円(材料代)

【申込期限】11月30日(水)

【問い合わせ・申し込み】まなび学園(☎23-4234)

■博物館体験学習

「夢灯りつくり」

【日時】12月18日

(日)、午後1時30分～3時

【会場】花巻市博物館

【定員】20人(先着順)

【参加料】2,500円から(材料代)

【申込開始日】11月19日(土)

【問い合わせ・申し込み】花巻市博物館(☎32-1030)

■松飾りを作ろう

【対象】小学3年～6年生(保護者同伴)

【日時】12月18日(日)、午前10時～正午

【会場】県立農業ふれあい公園 農業科学博物館(北上市)

【定員】10人(先着順)

【参加料】400円(材料代)

【申込期限】12月6日(火)

【申し込み方法】電話またはファクスで下記へ

※ファクスの場合は①参加者・保護者の氏名②学校名・学年③住所④電話番号を明記

【問い合わせ・申し込み】同博物館(☎0197-68-3975 FAX0197-68-3962)

募集

■市営住宅入居者

団地名	戸数	間取り	入居対象
本館	1戸	1LDK	一般
天下田	1戸	3DK	一般
諏訪	1戸	3DK	一般
石鳥谷駅西	1戸	3LDK	一般

【締め切り日】11月25日(金)

【入居の決定】抽選により決定

※上記のほか市営住宅46戸、定住促進住宅(新堀)2戸を随時募集しています。詳しくは市ホームページをご覧ください

【問い合わせ・申し込み】花巻市営住宅管理センター(☎21-3100)

■農業・農村体験受け入れボランティアスタッフ

農業・農村体験を受け入れる農家を補助するボランティアスタッフを募集します。

【対象】農業・農村体験の受け入れに興味のある人

【作業内容】小中高生の農作業体験や食事、送迎、宿泊のサポート

【申込期限】12月20日(火)

【問い合わせ・申し込み】はなまきグリーン・ツーリズム推進協議会

(JAいわて花巻生活ふれあい課内☎45-1213)

ラットランド市・花巻市姉妹都市提携30周年記念市民ツアー

昭和61年に米国バーモント州ラットランド市と旧石鳥谷町が姉妹都市提携を結んでから30周年を迎えました。

これを記念し、公式・市民訪問団32人が10月13日から19日までの日程でラットランド市を訪問。ラットランド市民から大歓迎を受けました。

訪問団の旅程の中から、歓迎会と記念レセプションの様子を紹介します。

●ラットランド・石鳥谷生徒交流プログラム(略称R I S E)による歓迎会

ラットランド市と本市の生徒の交流は、昭和62年に当時のジェフ・ウェンバークラットランド市長と大竹義文石鳥谷町長が始めたものが原型になっています。14日に開催されたR I S E

による歓迎会では、生徒や引率者、保護者たちがこれまでの交流を振り返り思い出を語り合いました。

●記念レセプション

15日には記念レセプションに出席。ラットランド市長をはじめ、これまで交流に関わってきたラットランド市民約200人が出席し、和やかな雰囲気の中進行了しました。

レセプションに出席したジェフ・ウェンバーク前々市長はあいさつで、初めて石鳥谷町を訪れた時のことを紹介。「山々に囲まれた地形がラットランドととても似ていて不思議だった。私

interview：市民ツアーに参加して

川村 茂さん(ときめき会)

記念レセプションでラットランド市の皆さんに民謡文化を紹介しました。初めて聞くであろう民謡を紹介することに期待と不安がありましたが、みんなで民謡に合わせて一緒に踊ったりして、その楽しさが伝わったのではないかと思います。現地では、ラットランド市と家族ぐるみの交流が繋がってきたことを実感しました。これからもお互いに楽しみながら交流が継続していくことを希望します。



◀レセプションで民謡について紹介する川村さん(中央)

八重樫 彩乃さん(石鳥谷・ラットランド友好協会事務局長)

中学生の時にラットランド市に派遣されてから交流を続けてきました。今回、再びラットランド市を訪れ、以前にお会いした皆さんと再会できてうれしく思いました。現地では以前訪問した生徒へ連絡を頼まれるなど、今も多くのつながりが続いていました。5年後の35周年でも多くの皆さんが再会できるように協力していきたいと思っています。



◀交流を楽しむ八重樫さん(右)。今回はお子さんと参加しました



①パーティーで交流を深められた②自然豊かなバーモント州③石鳥谷まつりをモチーフにした藍染タペストリーを贈呈しました④式典で石鳥谷音頭を踊るラットランド市の皆さん

「私たちはまるで故郷にいるようだった」と話すと、訪問団の皆さんもうなずいて共感していました。

また、平成13年9月の「アメリカ同時多発テロ」の際、帰りの飛行機が欠航となり3日間東京に足止めされたラットランド市民訪問団に対し、石鳥谷の皆さんがホテルを手配するなどの世話をしたことに触れ、ラットランド市民はとても感謝しているとの話も紹介されました。

このような助け合いや、これまでの豊かな交流を通じて、ラットランド市と本市はとても強い絆で結ばれています。